



学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

1 年の締め括りに感謝と、新しい年への飛躍を

校長 中川 勝美

今年も早いもので残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様には、この二学期間、本校の教育に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、子供たちが無事に登校できたのも保護者の皆様方の見守りのおかげと、全教職員、感謝をしているところです。

さて、いよいよ 20 日から、子供たちが楽しみにしている「冬休み」が始まります。生活リズムを崩すことなく、与えられた課題に加えてこれまで苦手だった学習内容を復習するなど、自ら目標を立てて、計画的に学習に取り組んでほしいと思います。

右の詩は、羽生市出身の詩人・作詞家の宮澤章二さんの詩「流れのなかで」です。

「一期一会」という言葉があります。今ここで出会えた仲間と切磋琢磨しながら共に成長していくこの瞬間を大切にしていってほしいと願っています。言葉や宝は人それぞれ違っても、「一期一会の大切さ」を気づかせてくれる詩ではないかと思いません。

来年は、成年です。全校児童生徒、ご家族の方々や日本国総領事館、日本文化振興会及び企業の方々、そして日系社会やブラジルの関係者の皆様にとって、希望に満ちた、充実した一年となりますよう願いますとともに、事故やけががなく冬休みを過ごしていただきますようお願いいたします。また、新しい年におきましても、学校へのご理解とご支援をさらに賜りますことを、よろしくお願い申し上げます。

新年の光がなでる新しい日記は
最初の頁から最後の頁まで 純白
しるせるときに しるしておかないと
二度とは記せない記録がある

流れのなかで

宮澤 章二

聞けるときに聞いておかないと
決して聞けないコトバがある
言えるときに 言っておかないと
再びは言えないコトバがある

つかめるときに つかんでおかないと
死ぬまで無縁の宝がある
みがけるときに みがいておかないと
光らぬままに朽ちて行く宝がある

得たものを失うその数よりも
得られずに失われたものたちの数の多さ
わずかの知恵と わずかの努力が
それらに触れ得たかも知れないのに...

よく頑張った長距離走大会！

9 日(土)、カントリークラブにおいて、長距離走大会を行いました。自分の立てた目標を超えようと気持ちのこもった走りで行く姿を駆けて抜けた子供たち。そして、ゴールした後、感極まって涙する子供の姿に感動しました。37 名の児童生徒が自己新記録を出しました。これまでアラーラや業間等の時間を使い、一生懸命に練習した成果が当日の記録や達成感となって現れたことと思います。

〈学校・学年新記録〉

○N・H さん 小 3 1000m (4 分 4 1 秒)

〈学年新記録〉

○A・N さん 中 2 2000m (9 分 5 2 秒)

○N・M さん 中 2 2000m (1 0 分 3 4 秒)

○H・K さん 中 2 2000m (1 1 分 0 5 秒)

1 月行事予定

寄贈して頂きありがとうございます。

モトホンダ様から 55 型 4K テレビを頂きました。

リークレス社 S 様から教材備品費として 1000 へアイスを頂きました。

H 様から絵本等をいただきました。

マナウス日本人学校の思い出を大切に新しい学校で新たな飛躍を！

二学期をもって R・H さん、T・H さんが帰国となります。

R さん、T さん、日本人学校のみんなが応援しています。日本でもマナウスの太陽のような輝きと熱気で有意義な学校生活を送ってください。また、M・S さんが、念願だった日本の研修に出発します。憧れの日本で自分の五感を通して学んできてほしいと思います。